

# FURUKAWA COMPANY REPORT

古河機械金属株式会社

第158期中間(第2四半期)のご報告

2024年4月1日～2024年9月30日  
証券コード:5715

社長メッセージ

CSVの視点を織り込んだ  
「マーケティング経営」を通じて、  
更なる企業価値向上にまい進します。

代表取締役社長  
中戸川 稔



当社グループは、創業150年となる2025年に向けた長期ビジョン「FURUKAWA POWER & PASSION 150」を掲げ、経営の基本方針であるCSVの視点を織り込んだ「マーケティング経営」を通じて、お客さま、さらには社会の課題解決に役立つ製品・技術・サービスを提供することで、当社グループの企業価値の最大化に取り組んでいます。2024年度は、ビジョン実現の総仕上げとなる3か年計画「中期経営計画2025」の2年目となります。

2024年度中間期の連結売上高は素材事業の減収が大きく、前年同期に比べ減収減益と厳しい結果になりました。

一方で、「中期経営計画2025」の方針の下に、資本コストと株価を意識した経営への取り組みを強化しており、政策保有株式の縮減を進め、自己株式の取得も実施しました。また、2024年度は、1株当たりの配当を、中間配当30円、期末

配当30円(予定)と、対前期で5円の増配を予定しています。

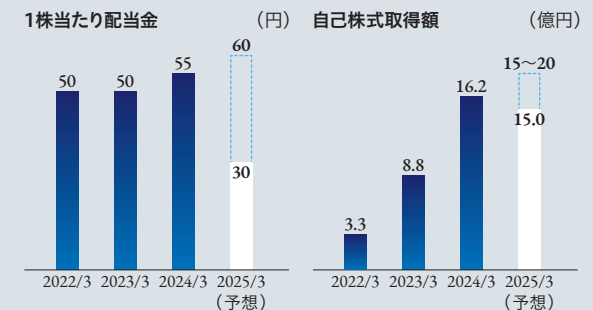
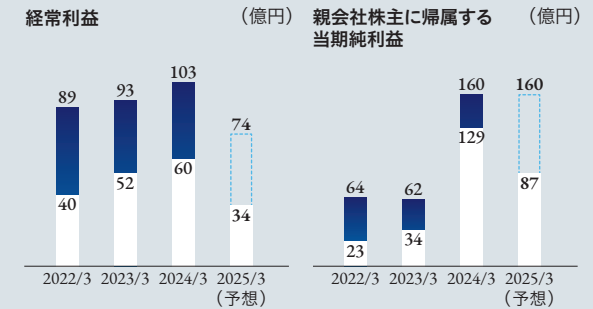
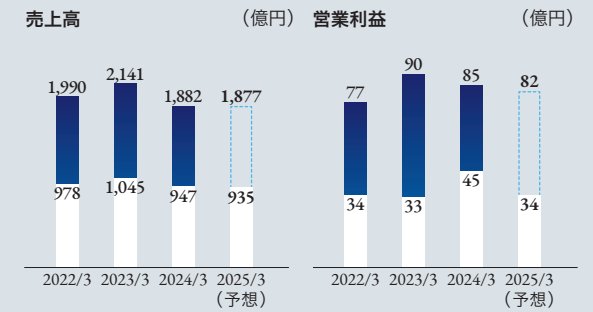
さらに、カーボンニュートラルに向けたロードマップの策定、人権方針の制定など、サステナビリティへの取り組みも着実に実行しています。

多様な角度から企業価値向上を図っていますが、PBR(株価純資産倍率)が1倍を割る状況が続いていることは大きな経営課題と認識しており、PBR1倍超の早期実現に向けた取り組みを引き続き強化していきます。

今後もステークホルダーの皆さまのご意見やご指摘に真摯に耳を傾けながら、当社グループの企業価値を向上させるよう、全社一丸となって臨んでまいります。

株主の皆さまには、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 業績ハイライト



# Highlights

2023.10  
~2024.9

2023年10月から2024年9月までの1年間に当社グループが対外発信した主なニュースを一覧でご紹介。今後も当社グループの様々な取り組みを発信していきます。

▼詳しくはこちら  
<https://www.furukawakk.co.jp/info/2024/>



## 2023.10

**ロックドリル** ブラストホールドリルの北関東地区の整備サービス事業を強化

## 2023.11

**サステナ** 人権方針を策定・公表

## 2023.12

**化成品** 金属銅粉および銅化合物を第10回メタルジャパン(高機能金属展)でPR



**ロックドリル** 国内向けにセミオート機能付油圧クローラドリル『HCR1000-DVI ADVANCE』を販売開始

**IR** 第6回無担保社債を発行

## 2024.2

**IR** 政策保有株式の縮減目標を設定

**ユニック** Honda Mobile Power Pack搭載のミニ・クローラクレーンを展示会で公開

## 2024.3

**サステナ** 「パートナーシップ構築宣言」を公表

**サステナ** 「国際女性デー」非鉄金属業界の共催イベント「DEIフォーラム2024」を開催

**産業機械** コーンクラッシャをタイ市場へ初納入

**DX** 「DX認定事業者」に認定

**IR** Cariboo Copper Corp.の株式を譲渡

## 2024.4

**産業機械** 関東甲信地域全域からの医療廃棄物処理の受入要請に応えるべく新焼却炉の稼働を開始

**IR** 譲渡制限付株式報酬制度を導入

# Topics

## セミオート機能搭載機の販売開始

### および北関東地区での整備サービス事業強化

近年、重機の国内市場では、熟練オペレータの引退などによる人材不足が問題となっています。この課題解決に向け、古河ロックドリルは、他の重機と比べ専門的なレバー操作が必要な油圧クローラドリル(国内シェア約65%)において、自動化技術の開発に取り組んできました。2023年12月には、せん孔サポートとシンプルな操作により、新オペレータが基本的な作業を短期間で習得できることを目的としたセミオート機能を搭載する『HCR1000-DVI ADVANCE』を開発し、販売を開始しました。

一方で、整備サービス事業も強化しました。碎石場が多く、油圧クローラドリルが相当数稼働している北関東地区において、これまで指定サービス工場で行っていた整備サービスを自社グループ内で行うことで、整備サービス事業の伸長を図るとともに、ロックドリル部門の整備技術者育成の場としても活用していきます。



## 政策保有株式の縮減目標を変更、配当金を増配

2024年5月、政策保有株式の連結純資産に対する比率を1年前倒して、2025年3月末までに、20%未満まで縮減することを発表しました。あわせて、2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当を1株当たり55円、2025年3月期の配当予想を同60円に増配することを決定しました。

政策保有株式の縮減は、「中期経営計画2025」に掲げる、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みの拡充・強化の一環として進めているものです。この目標により、資本効率性の改善を図るとともに、更なる縮減を加速することで、「持続的な成長と中長期的な企業価値向上」の実現に努めます。売却資金はM&A等の成長投資のほか、株主還元や環境投資に活用予定です。

## 2024.5

IR 政策保有株式の縮減目標を変更、配当金を増配

## 2024.6

ユニック 労働災害防止や人手不足解消に貢献するVRを活用したクレーンの訓練システムを開発

IR 譲渡制限付株式報酬として自己株式を処分

## 2024.7

ロックドリル 山岳トンネル工事の安全性・生産性向上に貢献する2ブームロックボルト打設ロボットが日本建設機械施工大賞を受賞



産業機械 新型スラリーポンプの本格稼働開始



IR 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込を完了

産業機械 東京都下水道局からポンプ設備工事を受注

サステナ 古河機械金属グループにおけるCO<sub>2</sub>排出量削減目標を発表

## 2024.8

産業機械 関東地方整備局長より「優良工事表彰」および「優秀工事技術者表彰」を受賞

IR 自己株式の取得および自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けを実施

IR 自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の取得を終了、取得結果を発表

## 2024.9

産業機械 群馬環境リサイクルセンター株式会社の株式を取得(完全子会社化)

産業機械 ダム建設工事で骨材運搬用の密閉式吊下げ型コンベヤ「SICON®」を受注

電子 業界最高の高熱伝導率250W/m・Kグレードの窒化アルミセラミックス基板を開発・販売開始



IR 投資有価証券の売却に伴う特別利益の計上

## 古河機械金属グループのCO<sub>2</sub>排出量削減目標を発表

2024年7月、「古河機械金属グループCO<sub>2</sub>排出量削減目標」を発表しました。

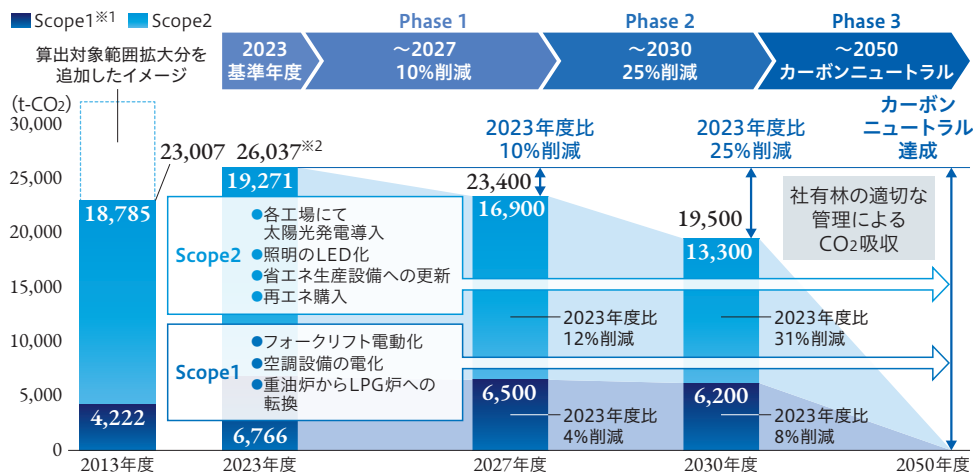
グループ共通の具体的な削減目標およびロードマップを策定することで、当社グループのサステナビリティへの取り組みに関するマテリアリティ(重要課題)の目標である「CO<sub>2</sub>排出量削減(Scope1、Scope2)」をより一層推進していきます。

### 古河機械金属グループCO<sub>2</sub>排出量削減目標

2030年度までにScope1、2においてCO<sub>2</sub>を25%削減する(2023年度比)

2050年度までにカーボンニュートラルを目指す

### カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ



※1 エネルギー起源にて算出

※2 算出対象範囲拡大(2023年度より国内主要生産拠点から海外を含む連結ベースに変更)に伴い総排出量増加

## 群馬環境リサイクルセンター株式会社を完全子会社化

当社は、連結子会社である群馬環境リサイクルセンター株式会社の全株式を2024年10月1日付で取得しました。同社は国内最大級の保冷自動倉庫を併設した最新鋭の医療廃棄物専門処理施設で、群馬県はじめ関東甲信越における医療廃棄物の適正処理に貢献しています。今後はさらなる事業拡大も視野に、効率的な経営体制の構築を図っていきます。



## 統合報告書／サステナビリティブック



統合報告書

ステークホルダーの皆さまに当社グループへの理解を一層深めていただくため、持続的な企業価値向上に向けた中長期戦略とサステナビリティ方針などをまとめた「統合報告書2024」を発行しました。当社グループの事業戦略についても、部門別に詳しく紹介しています。サステナビリティに係る詳細の活動状況・データ等は「サステナビリティブック」をご覧ください。



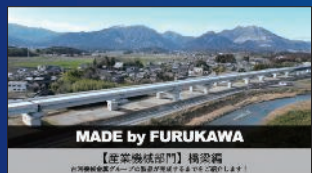
サステナビリティブック

## 動画チャンネルのご紹介(YouTube)



【社会課題を解決】  
ミニ・クローラ  
クレーン編

当社の歴史やグループ会社の紹介映像をはじめ、社会課題の解決に貢献する製品の特長や強みなどを詳しく紹介する様々な動画を公開しています。直近では、【社会課題を解決】ミニ・クローラクレーン編や製品の製造工程を紹介した【Made by FURUKAWA】橋梁編などを公開していますので、ぜひご覧ください。



【Made by  
FURUKAWA】  
橋梁編

注: YouTubeはGoogle LLCの商標です

## 会社概要

2024年9月30日現在

### 古河機械金属株式会社(証券コード:5715)

#### 創業

1875(明治8)年8月

#### 設立

1918(大正7)年4月

#### 資本金

282億818万円

#### 従業員数

2,884名(連結)

#### 本社

東京都千代田区大手町二丁目6番4号  
(常盤橋タワー)

TEL: (03)6636-9501(代表番号)

TEL: (03)6636-9504(法務部)

#### 中核事業会社

古河産機システムズ株式会社

古河ロックドリル株式会社

古河ユニック株式会社

古河メタルリソース株式会社

古河電子株式会社

古河ケミカルズ株式会社

#### 公式ウェブサイトはこちら

<https://www.furukawakk.co.jp/>

#### IR資料室はこちら

<https://www.furukawakk.co.jp/ir/library/>

## 株主メモ

#### 事業年度の末日

3月31日

#### 定時株主総会

6月

#### 定時株主総会の基準日

3月31日

#### 期末配当の基準日

3月31日

中間配当を実施するときの基準日は

9月30日

#### 単元株式数

100株

#### 公告掲載のウェブサイト

<https://www.furukawakk.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

#### 株主名簿管理人・特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

#### 郵便物送付先及び各種お問合せ先

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話(0120)782-031(フリーダイヤル)

#### 株式等に関する

#### マイナンバーのお届出のお願い

株式等の税務関係のお手続きにおいて、株主様のマイナンバーが必要になりますので、口座のある証券会社等へマイナンバーをお届出ください。なお、証券会社とのお取引がない株主様は、上記三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

FURUKAWA CO.,LTD.

